

■井川町教育大綱

教育方針

「あたたかな心 夢ときめく ひとづくり」

生涯を通じて自らの個性と能力を伸ばし、楽しく、生き生きとした人生を過ごしたいという意識への対応や、豊かな心・国際的な視野・創造力を持った、魅力ある人材を育む教育・文化のまちづくりが求められています。そのためには、社会変化に応じた多様な学習機会の創出や情報提供、心豊かで思いやりのある青少年の育成、人権教育の啓発等を充実させる必要があります。

そして、「まちづくりの原点はひとづくり」という観点から、幼児教育・学校教育・社会教育の充実を目指します。

1 学校教育

知育、徳育、体育の総合的な教育によって、豊かな人間性を持つ調和のとれた児童・生徒を育てる学校教育を推進していきます。ともに学び、挑み続ける児童生徒の育成を図るため、学校・地域・保護者が良好な関係を築いて主体的に開かれた教育課程をつくりあげ、義務教育9年間の新しい学校文化の創造を目指します。また、井川町の豊かな自然や伝統・文化そして生活など、郷土への理解を深める「ふるさと教育」を実践し、井川で生きること誇りをもち、明日の井川を拓く創造性豊かな児童生徒の育成に努めます。

■ 昨年度の課題

義務教育学校が開校し、教科担任制を導入した学習や、1年生から9年生が共に活動する学校行事や縦割り活動などの取り組みは高評価を得ましたが、児童生徒の社会性や自主的な力の伸長や教職員の新たな学校に対応する資質向上などへの取り組みが必要となっています。また、環境整備については、タブレットやデジタル教科書の導入など除法環境整備の具体について検討を進める必要があります。

■ 今年度の到達目標と具体的な取り組み（□到達目標 ・ 具体的取り組み）

(1) 学力の向上

- 対話や討論のある授業が展開されている。
- 授業がよくわかる。（全校平均3.3以上）
- 学力調査が県平均を上回る。
 - ・ 職員研修への外部講師派遣（対話力向上事業）
 - ・ 授業でのゲストティーチャーの積極的な招聘（専門家招聘事業・八郎水槽事業）
 - ・ 学習支援員の配置
 - ・ 秋田魁新報の5年生以上の教室への配布
 - ・ 図書カードの贈呈や学校図書館図書費の充実
 - ・ 教育委員会による学校訪問と指導助言

(2) 社会性の伸長

- 社会的な事象や出来事への関心が高くなる。
- 他学年と協力したりなかよくなるなどの関係が強くなる。
 - ・ 三陸震災列車の実施（あったかエリア事業）

- ・動物ふれあい学習の実施（あったかエリア事業）
- ・井川みらい学への外部講師招聘（専門家招聘事業）
- ・プログラミング体験講座の実施
- ・長期休業中の英会話教室の実施
- ・秋田魁新報の5年生以上の教室への配付（再掲）
- ・社会性測定尺度による社会性調査の実施
- ・QUの全学年での実施

(3) 温かな心・健康な体

- 生命尊重や思いやりに関する意識が高くなる。
- 生活習慣改善への意識が向上する。
- 積極的に運動する意欲が向上する。
- ・いのちの教育あったかエリア事業への支援
- ・八郎水槽事業への支援
- ・町健康教育副読本の活用への支援
- ・町の検診と連携した講座や検診見学の実施
- ・県医師会と連携した運動の取り組みへの支援
- ・職員対象のストレスチェックの実施

(4) 地域とともにある充実した学校

- 学校応援協議会からの提言に対応している。
- 学校給食の町内産野菜使用率が向上する。
- 義務教育学校への総合的評価が高まる。
- ・学校応援協議会の立ち上げと広報等の運営の充実
- ・学校支援委員会による子ども・保護者への支援
- ・幼小連絡会議による接続プログラムの作成
- ・教職員研修会（年3回）の実施
- ・通学路の安全確保とスクールバスの安全な運行
- ・学校給食供給システムの検討と改善

2 生涯学習・社会教育の推進

これまで生涯学習・社会教育の充実を図るため、公民館を拠点にして多くのプログラムを実施してきました。また、子どもを対象にした事業の充実を図るため、地域の人材を活用して放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実も図ってまいりました。

今後も、町民一人ひとりが潤いのある生活の実現を目指し、それぞれの年代やライフスタイルに応じて主体的に学ぶことのできる機会を充実させるとともに、学びの成果を生かす環境づくりに努めます。

■ 昨年度の課題

青少年や高齢者などを対象とした講座や事業は、参加者は減少しているものの学習機会の提供は必要であり、運営をボランティア団体等との連携を密にするなどして参加者を増加する取り組みが必要です。また、家庭教育への支援がやや手薄となっており、子どもセンターなど町長部局との連携も強めていく必要があります。

さらに、公民館図書室の運営については、学校やミナクルとの連携も視野にいれながら、貸し出し冊数増を目標にして、その方法について検討を進めていきたいと考えています。

■ 今年度の到達目標と具体的取り組み（□到達目標・具体的取り組み）

（1）豊かで楽しい学習機会の保証

□各種講座やイベントの満足度が向上する。

□参加者の減少に歯止めがかかる。

- ・高齢者大学、移動公民館、いきいき町民セミナー、放課後子ども教室等の実施
- ・満足度調査の実施及び聞き取りによる事業改善
- ・講座の名称や内容等の検討と改善

（2）地域の教育力向上への支援

□家庭教育支援の事業が充実する。

□公民館図書室の利用者数が増加する。

- ・読書活動や家庭教育支援での、学校や子どもセンターとの連携強化
- ・子ども教室の多用な講座や取り組みへの支援
- ・図書室の広報や展示の工夫

3 芸術文化の振興と文化財の保護保全

これまで町では、身近に芸術に親しむ機会の提供に努めたり、文化財の保護保全について、歴史民俗資料館を中心に収集・保存・展示を行ってきました。

今後も郷土の歴史や文化に対する理解を深めるため、地域社会の財産や伝統的な民俗文化などの保護・継承に努めます。また、多様な芸術文化活動を支援し、その振興、発展に努めます。

■ 昨年度の課題

文化財について、収集保存の充実に向けて文化財保護協会と連携しながら、保護審議会等で年次計画を策定するなど、十分に検討を行う必要があります。

文化振興については、その拠点が公民館にあることから、館内の展示や情報提供などの一層の工夫を図ってまいります。

■ 今年度の到達目標と具体的取り組み（□到達目標・具体的取り組み）

□文化財継承の課題解決について方向性を出す。

- ・学校と連携した伝統文化の継承と町民への啓発
- ・審議会等での幅広い意見聴取と協議

4 生涯スポーツの振興

町民と共に展開するスポーツ活動で、選手の育成や楽しむスポーツ、健康づくり、いきがいつくりに努めます。そのための推進体制を整備するとともに、施設や設備の充実につとめます。

■ 昨年度の課題

参加者の微減が続いており、運営に様々な団体等を巻き込むなど、その改善を図ります。またスポーツ少年団については組織改編を行い、設立趣旨に基づいて活動を再構築するよう、取り組みを進めていきます。

■ 今年度の到達目標と具体的取り組み（□到達目標・具体的取り組み）

□各種大会やイベントの満足度が向上する。

□組織の見直しで運営が活性化する。

- ・各種大会、チャレンジデー、自然ウォーキング、井川マラソンの実施
- ・満足度調査の実施及び聞き取りによる事業改善
- ・井川スポーツクラブの改編